

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ふりーだむ 子ども支援センター 出町				公表日	2026年3月19日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		活動ごとに部屋を使い分けることで、活動内容に応じたスペースを確保している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		送迎職員を配置することで、施設内に滞在する職員を十分に確保している。	指導員の退職に対応するため、安定した人員の確保が必要である。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		利用者の名札を使って分かりやすくし、必要に応じてパーテーションやマットで空間を分けるなど工夫している。	車椅子の方を受け入れられるような構造になっていない。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		必要のないものを配置しないようにしている。活動内容に合わせて部屋を分けるようにしている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		必要に応じて面談室や学習室の使用を認めている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		職員会議やその日の事前ミーティングで共有している。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		毎年年度末に実施し、全職員で共有している。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・毎月、職員会議を実施し、共有を図っている。 ・個別面談を半年に1回実施している。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		まだ外部評価を受けていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		・年間計画の中で研修の機会を確保している。 ・外部研修の情報があれば共有するようにしている。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		担当者会議やモニタリングだけでなく、学校や他機関との情報交換や情報共有を図っている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		職員会議の中で個別支援計画の原案を提示し、職員からの意見を取り入れながら作成している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		職員会議や事前ミーティングで確認している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		活動日案や個別の活動記録を作成し、確認・共有できるようにしている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		できる限り簡潔に具体的に作成し、説明するようにしている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		常勤指導員で原案を作成し、職員会議で共有・確認するようにしている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		同じ内容が重ならないように工夫している。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>		子どもの状態を見て、活動への参加の有無も含めて検討するようにしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		事前ミーティングをする時間を確保し、活動内容や子どもの状態などを共有するようにしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		気になったことなどは記録に残してもらい、その対応も含めて共有するようにしている。	終業後に十分な時間が確保できないこともある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>		活動の日案や子どもの活動記録を作成し、課題や改善点を共有するようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>		半年ごとのモニタリングだけでなく、職員会議や事前ミーティングで子どもの近況を共有し、対応を共有している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	<input type="radio"/>			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	<input type="radio"/>		活動で何をしたいかを自分で選択し、決定する機会を設けている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>		児童発達支援管理責任者が参加するようにしている。	常勤指導員の参画を検討していきたい。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>		できる限り連携の場に参加し、情報共有するようにしている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	<input type="radio"/>		事前に保護者からの確認をとり、学校と連携するようにしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	<input type="radio"/>		保護者や相談員を通して情報を提供してもらうようお願いしている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	<input type="radio"/>		要請があれば対応するようにしている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	<input type="radio"/>		地域ネットや区部会などの研修等に参加するようにしている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	<input type="radio"/>			
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	<input type="radio"/>		熊本市自立支援協議会子ども部会に参加している。また、西区発達支援ネットワークの運営委員をしている。	子ども部会の開催日時が支援時間と重なっており、参加できないことが多い。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>		連絡帳や送迎時、電話やLINEなど保護者と情報交換するようにしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>			個別での相談には応じており、子どもへの対応のアドバイス等はしている。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>		見学時や契約時に時間をかけて行なうようにしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>		担当者会議やモニタリング、日々の連絡帳や面談を通して確認するようにしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>		できる限り十分な時間を確保して説明し、同意を得るようにしている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>		適宜行なっている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		今のところ計画していない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		保護者などから苦情があった場合には速やかに対応し、職員間で共有するようにしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月ふりーだむ通信を作成している。インスタグラムを利用して実際の様子も伝えられるようにしている。	通信やインスタグラムを通して、より活動内容を伝えられるようにしていきたい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		職員間でも個人情報の取り扱いについて留意し、記録等も鍵付きのロッカーで保管している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		スケジュールや利用日の確認など、できるだけ視覚的にわかりやすく提示するようにしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		地域ではないが、子どもたちが作成した物を販売する機会を設けた。今後は子どもたちにも販売経験ができるように企画したい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		職員研修等の機会に訓練を行なっている。保護者への通知については、インスタグラムや通信等で周知を図っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		定期的に避難訓練（火災・水害・地震など）を行なっている。	保護者に実施していることの周知が十分ではないようなので、方法を検討中である。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時に確認している。利用開始後も保護者から情報提供していただき、対応等共有するようにしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		保護者からの情報提供のもと、アレルギー除去を徹底している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		通信やインスタグラム等で周知を行なっている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		その都度共有し、職員間で対応を協議・共有するようにしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		年間計画で研修を組み入れている。	
	54	虐待防止委員会及び身体拘束適正化検討委員会を定期的に開催し、その結果について従業者に周知徹底しているか。	○		年間計画を立て、委員会を開催し、周知するようにしている。	
55	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		職員会議・研修等で情報共有を図り、保護者には契約時等に説明して了承を得ている。		